

経済学部A方式I日程・社会学部A方式I日程・現代福祉学部A方式

## 3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～16	日 本 史	18～31
世 界 史	32～51	地 理	52～63
数 学	64～69		

## 〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
- 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
  - 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
  - 解答を導く途中経過も書くこと。
  - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

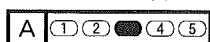
## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

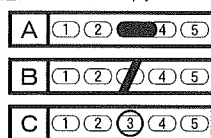
## 記入上の注意

- 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (日 本 史)

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

〔 1 〕 真田信繁(後世は「幸村」の名で知られる)は、武田家に仕えた武将・真田昌幸の家に生まれた。1582年、織田信長の甲州征伐により  で武田家は滅亡した。武田の領地は織田家家臣などに分与されたが、昌幸は織田信長に臣従し、上野や信濃などにあった所領を安堵された。しかし、本能寺の変が起こり、徳川家康、上杉景勝、北条氏直が武田遺領をめぐり争うことになる。真田昌幸は上杉景勝と通じて徳川家康と対立し、真田の上田城をめぐる攻防戦(第一次上田合戦)が勃発した。真田軍は圧倒的少数ながら知略で徳川家を退けたことで名を馳せることになる。徳川家康にとっては、  の負け戦とともに屈辱の体験であった。

豊臣秀吉が勢力を広げると真田は豊臣臣下になり、信繁は人質として大坂に移り、朝鮮出兵にも関わった。秀吉が死去した後の関ヶ原の戦いにおいて、信繁は、父の昌幸とともに西軍に加勢した。この時、兄の信幸は東軍につき、これが世にいう「犬伏の別れ」である。昌幸と信繁は、徳川秀忠率いる東軍の大軍に対して上田城で戦い、第二次上田合戦が起こった。ここでも、真田軍は知略で徳川軍を退け、結局、秀忠軍は関ヶ原の戦いに遅参してしまった。しかし、関ヶ原の戦いで西軍が敗北したことで、真田父子は高野山に流され、そこで昌幸は死去し、信繁は出家した。

問 1 文中の   に最も適切な語句を、次のア～カから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |           |        |
|----------|-----------|--------|
| ア 姉川の戦い  | イ 三方ヶ原の戦い | ウ 長篠合戦 |
| エ 天目山の戦い | オ 桶狭間の戦い  | カ 石山合戦 |

問2 織田信長の天下統一の過程で、信長は一向一揆との戦いに苦戦したが、一揆を支えた一向宗の教えと最も関係のある a)人物、b)著書、c)寺院を、次のア～シからそれぞれ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |             |       |
|------|-------------|-------|
| ア 親鸞 | イ 『正法眼蔵』    | ウ 永平寺 |
| エ 日蓮 | オ 『教行信証』    | カ 本願寺 |
| キ 道元 | ク 『立正安国論』   | ケ 建仁寺 |
| コ 一遍 | サ 『選択本願念仏集』 | シ 知恩院 |

問3 秀吉の天下統一を支えた太閤検地に関する以下の3つの文章を読み、正しければアを、間違っていればイを、それぞれ解答欄にマークせよ。

- a 秀吉は、それまでの主流であった自己申告制による指出検地に対して、実際に支配地に検地役人を出向かわせ統一した柵を使って測量した。
- b 秀吉は、従来、収穫した米の量を通貨に換算していた貫高制に対し、収穫量を米の容積に換算した石高制を採用し、年貢負担の基準とした。
- c 秀吉は、中間搾取などをなくすために、土地の耕作権を農民一人に限定した一地一作人の原則を採用した。

問4 豊臣秀吉は1592～93年(a)と1597～98年(b)に朝鮮に出兵しているが、その戦いは、日本と朝鮮でどのように呼ばれているか、正しい組み合わせを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ア a 文禄の役、丁酉倭乱 | b 慶長の役、壬辰倭乱 |
| イ a 文禄の役、壬辰倭乱 | b 慶長の役、丁酉倭乱 |
| ウ a 慶長の役、丁酉倭乱 | b 文禄の役、壬辰倭乱 |
| エ a 慶長の役、壬辰倭乱 | b 文禄の役、丁酉倭乱 |

## 日本史

問5 関ヶ原の戦いにおける西軍の盟主として最も適切な大名をア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 前田利家                      イ 石田三成                      ウ 宇喜多秀家  
エ 上杉景勝                      オ 毛利輝元

〔2〕 関ヶ原の戦いに勝利したことで天下の実権を握った徳川家康は、豊臣秀吉の遺子である秀頼との対立を深め、 鐘銘事件を機に、その対立は決定的となる。蟄居生活をしていた信繁は秀頼陣営から大坂城への入城を要請され、再び徳川軍と戦うことになる。信繁は、真田丸と呼ばれる出城を構築し、ここを拠点に奮戦し、徳川軍を苦しめた。翌年の大坂夏の陣では、劣勢の中、本陣に突入し、家康自身が自害を覚悟するほどに追い詰めたと言われているが、最後は押し返され戦死した。

その戦いぶりは「日本一の兵(ひのもといちのつわもの)」と称されたほどであった。徳川に敵対したにもかかわらず、江戸中期からは『真田三代記』などの軍記物に登場し、さらに明治以降は、猿飛佐助で有名な『真田十勇士』などの架空の物語として、立川文庫などでさらに人気を博するようになった。

問6 文中の  に入る寺社名を次のア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大徳寺    イ 方広寺    ウ 醍醐寺    エ 妙心寺    オ 東福寺

問7 大坂冬の陣については狩野家に伝来されている屏風図が残されているが、狩野家の絵師で安土桃山時代に活躍した狩野永徳の代表作を、次のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 風神雷神図屏風                      イ 松林図屏風                      ウ 唐獅子図屏風  
エ 紅白梅図屏風                      オ 山水図屏風

問8 真田信繁の軍記がもてはやされた江戸時代の民衆文化のジャンルに人形浄瑠璃があるが、その中でも絶大な支持を得た近松門左衛門の代表作品を、下記のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『世間胸算用』      イ 『冥途の飛脚』      ウ 『東海道中膝栗毛』  
 エ 『武家義理物語』      オ 『南総里見八犬伝』

問9 立川文庫は明治時代末期から大正時代に刊行され人気を博した文庫であったが、明治～大正期の民衆思想文化に関する下記の文中の  ～  にあてはまる用語を、次のア～ソから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

尾崎紅葉と  を中心に結成された  は  を刊行し、文芸の大衆化を推進した。明治後期に刊行された  は、もともとは宗教系の雑誌であったが、誌名を  と改題してからは社会評論などを拡充し、大正デモクラシーの論壇を支えることになった。一方、大日本雄弁会講談社が刊行した大衆娯楽雑誌  は後に発行部数が百万部をこえた。

- ア サンデー      イ 二葉亭四迷      ウ 文藝春秋  
 エ 硯友社      オ 北村透谷      カ 政教社  
 キ 文学界      ク 中央公論      ケ マガジン  
 コ 岩波文庫      サ 明六雑誌      シ 国民之友  
 ス 山田美妙      セ キング      ソ 我楽多文庫

## 日本史

〔Ⅱ〕 次の史料A～Dを読んで、下記の問いに答えよ。

A 当世の俗習にて、異国船の入津ハ (a) に限たる事にて、別の浦江船を寄ル事ハ決して成らざる事ト思リ。実に太平に鼓腹する人ト云ふべし。……海国なるゆへ何国の浦江も心に任せて船を寄らるゝ事なれば、東国なりとて曾て油断は致されざる事也。……細カに思へば江戸の日本橋より唐、阿蘭陀迄境なしの水路也。

B ……日本は海国なれば、渡海・運送・交易は、固より国君の天職最第一の国務なれば、万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取り日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり。

C イギリスは、日本に対し、敵国にては之無く、いはゞ付合も之無き他人に候故、今彼れ漂流人を憐れみ、仁義を名とし、態々送り来り候者を、何事も取合申さず、直に打払に相成候はゞ、日本は民を憐まざる不仁の国と存じ、若又万一其不仁不義を憤り候はゞ、日本近海にイギリス属島夥しく之有り、始終通行致し候得ば、後来海上の寇と相成候て、海運の邪魔とも罷成申すべく……。

D 異国船渡来の節取計ひ方、前々より数度仰せ出されこれ有り。をろしあ船の儀に付ては、文化の度改めて相触れ候次第も候処、いきりすの船、先年長崎において狼藉に及び、近年は所々え小船にて乗寄せ、薪水食料を乞ひ、去年ニ至り候ては猥ニ上陸致し、或は廻船の米穀、嶋方の野牛等奪ひ取り候段、追々横行の振舞、其上邪宗門勧め入れ候致し方も相聞へ、傍捨て置かれ難き事ニ候。

〈備考〉各史料とも必要に応じて、一部省略したり、表記を改めたりしたところがある。

問1 史料Aの (a) に入る語句を次のア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 下田      イ 長崎      ウ 平戸      エ 新潟      オ 箱館

問2 史料Aは、ある人物が著した著書の一部である。この人物とこの著書の組み合わせとして正しいものを次のア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 山片蟠桃 —— 『夢の代』      イ 新井白石 —— 『西洋紀聞』  
ウ 安藤昌益 —— 『自然真営道』      エ 林子平 —— 『海国兵談』  
オ 桂川甫周 —— 『北槎聞略』

問3 史料Aの著者は、この著書などによって幕府から処罰を受けた。この時期、幕府の出した出版統制令によって処罰を受けた人物を下記のア～カからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 大田南畝      イ 曲亭馬琴      ウ 式亭三馬  
エ 恋川春町      オ 山東京伝      カ 上田秋成

日本史

問4 史料Bに関する次の文章の ① ～ ④ に入る語句として、最も適切なものを下記のア～サから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

史料Bは、 ① が1798年に著した ② の一部である。この時期になると、封建制の維持あるいは改良を説く現実的な経世思想が活発になった。商売をいやしめる武士の偏見を批判し、藩財政の再建のためには商品経済の発展をもたらす殖産興業が必要であることを説いた ③ や、『経済要録』などを著した ④ も経世家として知られる。

- |          |        |          |          |
|----------|--------|----------|----------|
| ア 海保青陵   | イ 富永仲基 | ウ 荻生徂徠   | エ 本多利明   |
| オ 藤田東湖   | カ 佐藤信淵 | キ 『経世秘策』 | ク 『農政本論』 |
| ケ 『柳子新論』 | コ 『新論』 | サ 『稽古談』  |          |

問5 史料Bの下線部(b)は、ここでは「将軍」を意味するが、具体的にだれを指すことになるのか、下記のア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア 徳川家斉 | イ 徳川家茂 | ウ 徳川慶喜 |
| エ 徳川家慶 | オ 徳川家定 |        |



問6 史料Cに関する次の文章の ① ～ ⑥ に入る語句として、最も適切なものを下記のア～ツから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

史料Cは、① が1838年に完成させた ② の一部である。前年にあった ③ について、幕府の対外政策を批判した著作だった。幕府はこうした幕府批判の書を厳しく取り締まり、処罰した。これは、④ と呼ばれた。画家としても知られ、⑤ を著した三河国田原藩の ⑥ も国元での永蟄居となった。

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| ア フェートン号事件 | イ ゴローウニン事件 | ウ モリソン号事件 |
| エ シーボルト事件  | オ アヘン戦争    | カ 安政の大獄   |
| キ 蛮社の獄     | ク 寛政異学の禁   | ケ 明和事件    |
| コ 渡辺崋山     | サ 高野長英     | シ 山県大弐    |
| ス 工藤平助     | セ 『慎機論』    | ソ 『戊戌夢物語』 |
| タ 『解体新書』   | チ 『赤蝦夷風説書』 | ツ 『華夷通商考』 |

問7 史料Dの下線部(c)に含まれないものを下記のア～オからすべて選び、解答欄にその記号をマークせよ。

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| ア 琉球船   | イ 中国(清)船 | ウ アメリカ船 |
| エ イギリス船 | オ 朝鮮船    |         |

日本史

問8 史料Dに関する次の文章の ① ～ ⑤ に入る語句として、最も適切なものを下記のア～シから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

1792年にロシアの ① が根室に来航するなど、18世紀後半以降、日本に来航する諸外国の船が増えた。こうした状況の中、幕府は外国船員と住民との衝突を回避するために新しい政策として ② を出した。史料Dは、その一部である。しかし1842年には、旧来の政策に復帰する、いわゆる ③ が出された。その2年後には、 ④ から開国を勧告する親書が届く。1853年にはアメリカ東インド艦隊司令長官ペリーとロシアの使節 ⑤ が相次いで来航し、時代が開国へと大きく動き出す。

- |   |          |   |         |   |         |
|---|----------|---|---------|---|---------|
| ア | プチャーチン   | イ | ゴルドン    | ウ | ラクスマン   |
| エ | レザノフ     | オ | ビッドル    | カ | 異国船打払令  |
| キ | 天保の薪水給与令 | ク | 棄捐令     | ケ | イギリス国王  |
| コ | オランダ国王   | サ | アメリカ大統領 | シ | オランダ商館長 |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

資本主義の発達とともに賃金労働者が増加してきた。当時の工場労働者の大部分は女工または工女と呼ばれた女性であった。彼女たちの多くは、苦しい家計を助けるために出稼ぎにきた小作農などの子女たちで、賃金の前借りや寄宿舎制度で工場に縛りつけられ、劣悪な労働環境のもと、低賃金と長時間労働を強いられた。農村では、自作農が不況や不作で土地を手放す一方、土地を集めて小作料で生活する ① がふえていた。これに対して、重工業や鉱山・運輸産業は男性労働者が多数を占めていた。こうした労働者や農民の貧困や劣悪な労働条件を問題にした著作に、横山源之助の ② や、農商務省の ③ などがある。

日清戦争後、待遇改善を求める労働者のストライキがおり、こうしたなか、アメリカで労働運動を体験した A により1897年、職工義友会が結成され、同年、B も加わって ④ に改組された。このころ、公害事件も発生した。1891(明治24)年、足尾銅山から流れ出た鉱毒が、渡良瀬川流域の農業・漁業に深刻な被害をあたえていることが社会問題になった。

これらの動きに対して第2次 C 内閣は、1900(明治33)年に ⑤ を制定し労働運動を取り締まった。その反面で、労働条件を改善して労使対立を緩和しようとする社会政策の立場から、第2次 D 内閣は、1911(明治44)年、工場法を制定した。日本で最初の労働者保護法である工場法は、きわめて不備な内容であった。

日本史

問1  ① ~  ⑤ に最も適切な語句を、次のア～ソから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |           |             |           |
|-----------|-------------|-----------|
| ア 『あゝ野麦峠』 | イ 寄生地主      | ウ コンツェルン  |
| エ 財閥      | オ 『職工事情』    | カ 『女工哀史』  |
| キ 治安維持法   | ク 治安警察法     | ケ 日本鉄道矯正会 |
| コ 日本農民組合  | サ 『日本之下層社会』 | シ 農地改革    |
| ス 『貧乏物語』  | セ 労働組合期成会   | ソ 『労働世界』  |

問2  A ~  D にあてはまる人物を、次のア～ケから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| ア 安部磯雄  | イ 伊藤博文  | ウ 大隈重信 |
| エ 片山潜   | オ 桂太郎   | カ 河上肇  |
| キ 西園寺公望 | ク 高野房太郎 | ケ 山県有朋 |

問3 下線部(a)に並ぶ有力な銅山を次のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |      |      |
|--------|------|------|
| ア 生野   | イ 岩見 | ウ 院内 |
| エ 佐渡相川 | オ 別子 |      |

問4 下線部(b)と同年の出来事を次のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1894年に締結された日米通商航海条約は、この年に改正され、これにより日本は関税自主権を回復した。

イ この年に教育に関する勅語(教育勅語)が配布され、忠君愛国が学校教育の基本である事が強調された。

ウ 女性解放の先駆者である平塚らいてうらが、この年、雑誌『青鞜』を創刊し、その後、婦人運動は本格化していった。

エ この年、いわゆる普通選挙法が成立し、満25歳以上の男性が衆議院議員の選挙権をもつことになり、有権者は一挙に4倍に増えた。

オ 小説家・童話作家である鈴木三重吉が、この年、児童文芸雑誌『赤い鳥』を創刊し、生活綴り方教育の運動にも影響を与えた。

## 日本史

問5 以下の(1)~(4)は、〔Ⅲ〕の文章に関する正誤問題である。以下の各X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下の解答群ア~エの中からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

〔解答群〕

ア	X	正	Y	正	イ	X	正	Y	誤
ウ	X	誤	Y	正	エ	X	誤	Y	誤

- (1) X 1900年には、工場労働者総数39万人の6割を繊維産業が占めていた。  
Y 紡績業の労働は1日2交替の昼夜業がおこなわれ、製糸業では労働時間が1日15時間以上におよぶこともあった。
- (2) X 1880年代の松方財政でのデフレ政策によって上昇し始めていた小作地率は、1890年代にも上昇し続け明治末期の小作地率は8割をこえていた。  
Y 小作料は現物納で、地租は定額金納であったため、米価の上昇は地主の収入増となり、地主は小作料収入をもとに企業をおこしたり、公債や株式に投資したりして、しだいに資本主義との結びつきを深めた。
- (3) X 工場法は、10歳未満の就労禁止、少年・女性の就業時間を8時間とし、その深夜業を禁止することなどを定めていたが、14人以下の工場には適用されなかった。  
Y 工場法は、資本家の反対もあり、実施は1916年まで延期された。
- (4) X 渡良瀬川流域の被害に対して、被災地の農民は数回にわたって陳情を試みたが、1900年には警官隊と衝突して数十名が逮捕された。  
Y 足尾鉍毒事件では、政府が鉍毒調査会を設置したが効果なく、1901年には田中正造が議員を辞任し、天皇に直訴した。

問6 以下の労働に関するア～エの記述について年代順に配列したとき、1番目(1)、2番目(2)にくる記述の記号を、それぞれ解答欄にマークせよ。

ア 社会主義運動・労働運動の高揚にともなって、プロレタリア文学運動がおこり、機関誌『種蒔く人』が創刊された。

イ 富山県での米価高騰に対する漁村の主婦たちの蜂起を機に、米の安売りを要求して米商人・地主などを襲撃した民衆暴動(米騒動)は全国に拡大した。

ウ 小作料の引下げを求める小作争議が頻発し、杉山元治郎・賀川豊彦らによって、全国組織である日本農民組合が結成された。

エ 労働者階級の地位向上と労働組合育成とを目的に、鈴木文治によって友愛会が組織された。この時期、修養団体から労働組合の全国組織へと急速に発展した。